

〇「集落の農地を守る多様な事業に農業委員さんの関わり」
 (京都府京丹後市峰山地区連絡会議 平成30年度12月)

担い手への農地利用の集積・集約化

遊休農地の発生防止・解消

新規参入の促進

その他
 (農業委員会の体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年12月5日 午後5時～午後6時
- 場所: 市役所大宮庁舎第4会議室
- 出席者: 農業委員2人(欠席1人)
 最適化推進委員4人(欠席2人)
- 報告者: 石嶋政博 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 地理的条件: 中山間地域で大きくは竹野川流域と鱒留川流域に別れた水田地帯で商業エリアと里山エリアに区分される。
- 農用地の特徴: 稲作主流の水田地帯、里山開発の畑地帯もあり
- 農業経営の状況: 水稲主流農家は小規模ながら機械装備があり自己完結型がほとんど。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 府下農業委員会視察研修先島根県邑南町の研修報告
- 農業振興地域見直しの地元集落の話し合いの状況報告(長岡地区では農用地への編入の動き)
- 多面的機能事業の継続取組について集落の状況報告(二箇地区では推進委員さんが担当しているが他は関わりが無い)
- 橋木地区と五箇地区で新規就農者を取り込んだ京力農場プランの策定や改訂の動き紹介
- 丹波地区の水田の返還があり地元法人が借り受けの動き
-
-

- 4 活動結果
- 情報・意見交換 1 時間
 - 担い手への集積 a 増加
 - 遊休農地面積 a 解消
 - 新規就農者 人 支援